

平成30年度自己評価の結果について

(公表シート 様式 4)

学校法人旭川カトリック学園 旭川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・学校教育法に基づき幼児を教育し、キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。
- ・キリストによって示された神の愛を知り、他者への祈りを通して世界観を持つ。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としてのビジョンを明確化する。
- ・幼児教育が人間形成の根を作る時期であることを教師と保護者が共有し、子どもを他者と比較することなく育てる。
- ・宗話や保育室や教会などで、園児が他者のために祈る体験を多く持つ。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	年間カリキュラム、月案、週案をたて、計画的に保育を進めることができた。幼児の実態の変化、季節や環境の変化などにもできるだけ柔軟に対応していく保育を行った。楽しくのびのびと遊ぶことができる環境作りにも配慮していくことができた。異年齢の交流の場が昨年より少なかった。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	園児一人ひとりをしっかり見つめ、話をよく聞き思いを受け止め、園児と共感しながら保育活動を行った。園児の様子などについて保育者同士で話し合い共通理解をするよう心がけた。いろいろな遊具が劣化してきたため、点検や危険箇所の確認を定期的に行い、安全管理に配慮をした。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	行事の『企画－実施－評価』の徹底を今年度も計り、行事の充実と教師の資質向上を目指した。また、園児の成長を自分の喜びと感じ、園児と一緒に生活を創り出すことを楽しいと感じることで、生き甲斐を持って保育に取り組むことができた。
4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。	保護者に個々の園児の様子を伝えていくよう、また家庭での様子を伝えて頂くよう連絡を密に取っていく努力をした。保護者からの相談や要望も出しやすいように、普段からの声かけやアンケートなどに取り組んだ。
5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。	市内の姉妹園や聾学校との交流を行った。また小学校との交流や中学生の職場体験の受け入れなども行い、積極的に関わる努力をした。地域の人との交流はあまり行うことが出来なかった。

6 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。	保育のあり方、園児理解、改訂された教育要領についてなど、研修会に参加して学ぶことができた。地域社会との連携や子育て支援、危機管理対応など研修の研修は今年度もあまり行うことができなかった。
7 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。	園便りやクラス便り、週予定の発行を定期的に行うことができた。ホームページのブログ更新もできるだけ行う努力をし、保護者やご家族の方々。園を探している方々などにも園の様子を伝えることができた。今後も個人情報保護にも配慮しながら、できるだけ情報発信を行いたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は職員配置を充実させる事が出来、園児ひとり一人をよく見る体制が少し改善された。取り組むべき課題について、全教職員が共通理解することができるよう話し合いを持ってきたが、不十分な面も見られた。しかしそれぞれ自己評価し、取組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
安全管理	安全管理の研修がなかなか行えないが、全員が安全管理への共通意識を持つ事ができるよう、計画的に取り組む必要がある。施設面での対応と、教職員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの見直しを引き続き行っていきたい。
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成、職員配置などを検討するとともに、医療・福祉の関係機関との連携も保護者と一緒に検討していく。また、当該児が進学する小学校との連携を密接にしていきたい。特別支援についての研修はこれからも継続して参加し、知識と理解を深めていきたい。
園に対する保護者の満足度の把握	アンケートなどを通して保護者からの意見を聞く機会を引き続き作っていききたい。本学園の建学の精神や本園の特色を大切にしつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められるカトリック幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

6. 学校関係者の評価

- ◎ 保育の計画性
 - ・季節に応じて様々な行事や活動があり、子どもたちが楽しく通園できるようにできていると感じる。
 - ・親子で参加できる行事がもっと欲しい。自由参観日も他園と比べると少なめなので増やして欲しい。
 - ・忙しいとは思いますが、園外保育をもう少し増やして欲しい
- ◎ 保育の在り方、幼児への対応
 - ・ひとり一人個性の違う子どもたちをしっかりと見て対応していると思う。
 - ・子どもの遊びから得意なこと苦手なことを読み取って、遊びのテーマを変えチャレンジさ

せて欲しい。

◎ 保育者としての資質

- ・先生たちから笑顔で挨拶をしてくれて、とてもすばらしいと思う。
- ・ごくまれに威圧感を感じることがある。子どもたちがのびのびできる幼稚園を望む。

◎ 保護者への対応及び家庭との連携

- ・バスだと園に行くことが少ないので、何かあったときバスや電話で報告をしてくれありがたい。
- ・忙しいとは思いますが、様子や体調を心配している親には、こまめにその日のうちに伝えて欲しい。もっと子どもの園での情報（体調、ケガ、ケンカ、泣いた事 etc.）を伝えて欲しい。

◎ 地域社会との連携

- ・さんぽや冬まつり見学など園外で学ぶ機会が多く、年長は勤労感謝の訪問や小学校の招待で入学への期待を高めたりしていて良かった。
- ・もっと外に出してもいいと思う。公園などで水や木や土などの自然に触れ、感じることはいい事だと思う。
- ・バザーで近所の方を招待するのはいいと思う。夏祭りなどもあると楽しいと思う。

◎ 研究と研修

- ・擦り傷の応急処置の方法が変わったが、自分の知らない方法だったので、詳しい説明文があり安心したのと同時に勉強にもなった。
- ・子ども目線はすごく大事なことだと思う。やっていないのに怒られて謝って仲直りをする、ということが無いよう、子どもの気持ちをもっと大事にして欲しい。

◎ 情報公開

- ・園便り、クラス便り、ブログ等が毎回楽しみだ。
- ・ブログを楽しみにしている。週1などもう少し更新頻度が高いとよりよいと思う。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間にも周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。